

『継承と開拓』

茨城県立小瀬高等学校のwebページにアクセスいただき、誠にありがとうございます。
本校は、明治32年（1899年）に村立農業補習学校として創立され、県内の高校で6番目に長い歴史をもつ伝統校です。昭和23年に茨城県立小瀬高等学校となり、平成15年度からは県内で初めての連携型中高一貫教育校となって現在に至っております。

この間、1万余名が本校を巣立ち、県内外を問わず各方面において活躍しております。社会の変革とともに幾多の変遷はありましたが、歴史と伝統を大切にし、常に地域と共に歩みを進め、今年で創立125年目を迎えました。

本校では、次の3つを教育理念としております。

生徒を主語とした教育

安心安全な場所で行う教育

地域と共に歩む教育

そして、この教育理念のもと、育てたい人物像として、以下のことを明示し、全教職員で確認しております。

- ・希望をもち 心身ともに健康な人
- ・人とつながり 社会の一員として自律した人
- ・地域の中で歩み 地域に貢献できる人

このような生徒に育つよう、そして、生徒・保護者や地域社会のニーズに応えるために、特別進学コース・教養コース・福祉コースの3つのコースを設け、われわれ教職員は「伴走者としての関わり」をモットーに掲げて、きめ細やかな教育を展開しております。

○特別進学コース

国公立大学や難関私立大学を目指している生徒向けのコースです。少人数制で発展的な授業を展開し、これまでに多数の国公立大学合格者を輩出しています。

○教養コース

私立大学・専門学校・就職を考えている生徒向けのコースです。就職では20年連続内定率100%を達成しています。公務員試験でもこれまで多数の合格者を出しています。

○福祉コース

高齢社会の到来により、社会的ニーズが高まっている介護福祉職等を目指すコースです。卒業時には介護職員初任者研修修了の認定を受けることができます。また、地元福祉施設の協力のもとデュアルシステムを導入しています。

今の時代、先行き不透明で予測困難な時代といわれています。このような時代だからこそ、本校では『継承と開拓』という言葉のもと、「歴史と伝統をしっかりと学び、意識し、継承していく」、「先人の経験や知識を自分の力とし、時代の変化を的確に捉え、それぞれの未来を開拓していく」ための力を身に付けるべく、日々の教育活動を展開しております。

本校に興味を持っていただけたなら、直接お越しいただき、実際の学校の様子などをご覧いただければ幸いです。お気軽にお声かけください。

